

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報 (U)

昭54—108957

⑬Int. Cl.<sup>2</sup> ⑭識別記号 ⑮日本分類 ⑯庁内整理番号 ⑰公開 昭和54年(1979)7月31日  
H 05 K 1/04 59 G 40 6370—5F  
H 01 R 3/00 60 D 0 6969—5E  
H 05 K 3/36 6370—5F 審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑱電気回路基板の組立構造物

大津市園山一丁目1番1号 東  
レ株式会社滋賀事業場内

⑲実 願 昭53—4428

⑳考 案 者 和久田弘

㉑出 願 昭53(1978)1月20日

大津市園山一丁目1番1号 東  
レ株式会社滋賀事業場内

㉒考 案 者 賀代純三

㉓出 願 人 東レ株式会社

大津市園山一丁目1番1号 東  
レ株式会社滋賀事業場内

東京都中央区日本橋室町2丁目  
2番地

同

小川紹宣

㉔実用新案登録請求の範囲

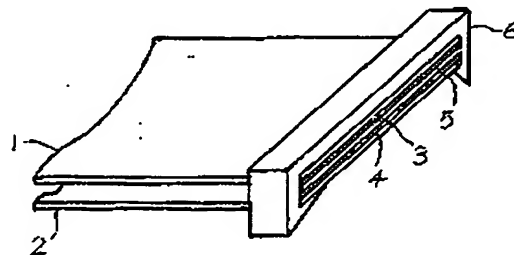
電気端子を有する一対の電気回路基板の間に異方導電性シートが介在されており、これら一対の電気回路基板と異方導電性シートとを挟持部材により前記一対の電気回路基板のおおのの背面から一体に挟持してなる電気回路基板の組立構造物であつて、かつ前記挟持部材は前記一対の電気回路基板の幅方向に延びた挟持部と、この挟持部の後方に設けた前記挟持部に挟持圧を付与するばね部とを有することを特徴とする電気回路基板の組立構造物。

図面の簡単な説明

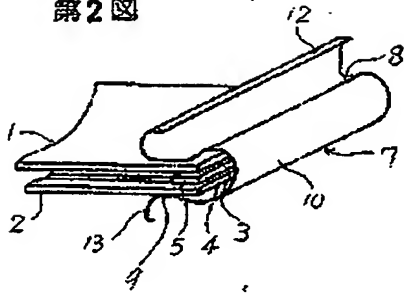
第1図は従来の電気回路基板の組立構造物を示す概略斜視図、第2図は本考案の電気回路基板の組立構造物の一実施例を示す概略斜視図、第3図は本考案の電気回路基板の組立構造物の組立手順を示す概略斜視図、第4図～第11図は本考案において使用する挟持部材のそれぞれ異なる実施例を示す概略面図である。

1, 2……電気回路基板、3, 4……電気端子、  
5……異方導電性シート、6, 7……挟持部材、  
8, 9……挟持部、10……ばね部。

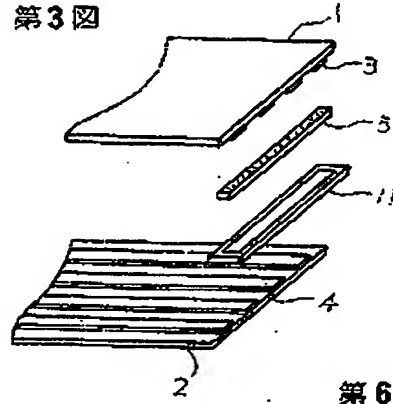
第1図



第2図



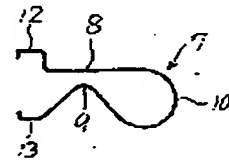
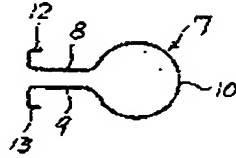
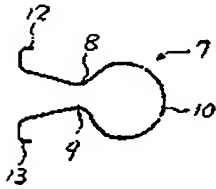
第3図



第4図

第5図

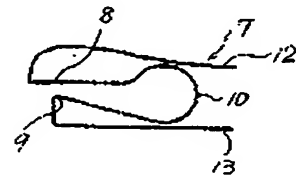
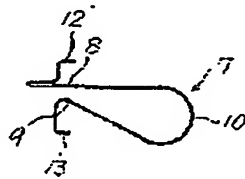
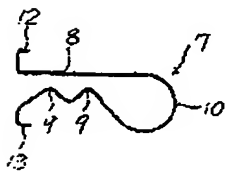
第6図



第7図

第8図

第9図



第10図

第11図

